

別添

令和 8 年度群馬県 G N S S 活用研修について

1 趣旨・目的

森林資源情報を高度かつ効率的に把握するためには、UAV、GNSS 機器をはじめとする ICT・IoT 技術の利活用が不可欠である。

国においては、令和 2 年 3 月に「造林補助事業竣工検査内規例」が改正され、補助金の申請や検査業務において、UAV で撮影した画像から作成されたオルソ画像や GNSS などのデジタル技術が活用できるようになった。

さらに、令和 7 年 3 月には、UAV、GNSS 機器、GIS ソフト等を活用した補助金申請・検査の方法や検査基準等を整理した「森林整備事業における補助金のデジタル申請・検査ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）が整備された。

こうした背景を踏まえ、本県では GNSS 等の関連機器の操作や、取得したデジタルデータの利活用が可能な人材を育成するとともに、補助事業申請等へのデジタル技術の普及促進を目的とした研修を実施するものである。

2 研修内容等

(1) 研修内容

内容は次のとおり。研修期間は令和 8 年 1 1 月中旬から令和 9 年 2 月末とする。

- ① 集合研修：1 1 月 1 2 日（木）、1 1 月 1 3 日（金）の 2 日間 9 時～1 6 時

会場：森林学習センター 講義室（渋川市伊香保町伊香保 637）

- ② 実地研修：各受講団体で、皆伐再造林地、間伐区域等の GNSS 測量、補助事業の申請図面作成、クラウドを使用したデータ共有

- ③ フォローアップ研修：実地研修期間中に 6 時間

- ④ 中間発表会：1 2 月 2 1 日（月）の 0.5 日間

会場：森林学習センター 講義室（渋川市伊香保町伊香保 637）

- ⑤ 最終発表会；令和 9 年 2 月下旬予定 0.5 日間

(2) 受講対象者の要件

受講者は、次の要件を全て満たす者とする。

- ① 受講団体が林業経営体であり、これに雇用されている者とする。

- ② 受講団体において、インターネットの通信環境（光回線等の安定高速回線）が整っていること。

- ③ 測量成果を図化（ベクターデータ化）するため、Windows10/11、メモリ 16GB、記憶容量 SSD256GB 以上のパソコンを準備できること。

- ④ 測量成果を活用し造林補助事業等の補助金申請（ガイドライン準拠）を行うこと。

(3) 受講者数

6 受講団体（1 2 名）（希望者が多い場合は、抽選とする。）

- (4) 受講費用
無料

3 その他

- (1) 研修に必要となる GNSS 機材については、県が貸与する。
- (2) 研修実施団体 晃洋設計測量株式会社 栃木県足利市山川町 656-1
- (3) 研修に関する問合せ先
群馬県 環境森林部 森林局 林業振興課 林業イノベーション室 林業未来戦略係
TEL : 027-226-3235